

教科	保健体育	学科	普通科	学年	2	年	必修修科目
科目	保健			単位数	1	単位	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			副教材	現代高等保健体育ノート		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)							
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力		傾聴力	課題解決能力
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	コミュニケーション能力
	基礎的読解力		創造力		洞察力		継続力	行動力
	自己管理能力	○	共感力		自己実現力	◎	復元力(折れない心)	自己肯定感
学習の到達目標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。							
	・健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。							
	・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準 (3)生涯を通じる健康			
★4月～6月下旬までの学習内容			
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。	生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習・ノート	・定期考査 ・小テスト ・グループワークシート	・ノートの提出 ・グループワークシート ・考査前後の振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	1. オリエンテーション 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康	・保健授業の意義について説明し、1年間の見通しを持つ。 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解する。(グループワーク)
5	3 性意識と性行動の選択	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解する。(小テスト、ノート提出)
6	4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶	・結婚生活について、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解する。(グループワーク)

★単元ごとの評価規準		(2)健康の保持増進と疾病の予防		★7月上旬～9月下旬までの学習内容					
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度					
現代社会と健康、及び、安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して日々の生活を送ることができる。		課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		現代社会の健康や、安全な社会生活について、主体的に関わり自の健康や環境を適切に管理し、改善しようとしている。					
★何で評価するか		★何で評価するか		★何で評価するか					
・定期考査 ・小テスト ・課題学習・ノート		・定期考査 ・小テスト ・グループワークシート		・ノートの提出 ・グループワークシート ・考査前後の振り返りシート					
7	6 結婚生活と健康	・結婚生活について、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解する。(小テスト、ノート提出) ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係すること、また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあること、さらに、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解する。(グループワーク)							
	7 中高年期と健康								

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

自己評価	実際評価				
観点	観点				
①	②	③	①	②	③

8	8 働くことと健康	・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと、働く人の日常生活においては、生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解する。(小テスト、ノート提出)
9	前期期末考査と解答 9 労働災害と健康	・前期の学習について、知識の確認・解答を通して振り返り ・労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたこと、労働災害を防止するには、過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解する。

★単元ごとの評価規準 (3)精神の健康・交通安全・応急手当			★10月上旬～3月下旬までの学習内容			自己評価			実際評価		
①知識・技能			②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度			観点		
労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。			労働災害と健康について、習得した知識を基に労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理しているとともに、筋道を立てて説明している。			労働災害と健康について、主体的に関わり自の健康や環境を適切に管理し、改善しようとしている。			観点		
★何で評価するか			★何で評価するか			★何で評価するか			① ② ③		
・定期考査 ・小テスト ・課題学習・ノート			・定期考査 ・小テスト ・グループワークシート			・ノートの提出 ・グループワークシート ・考査前後の振り返りシート			① ② ③		
10	10	健康的な職業生活	・労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたこと、労働災害を防止するには、過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解する。(グループワーク)								
	1	大気汚染と健康	・人間生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解する。(小テスト、ノート提出)								
	2	水質汚濁、土壌汚染と健康									
11	3	環境と健康にかかわる対策	・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解する。(グループワーク)								
	4	ごみの処理と上下水道の整備	・上下水道の整備、ごみやし尿などを適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境及び人々の健康を守るために行われていることについて理解する。								
	5	食品の安全性	・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあることについて理解する。(小テスト、ノート提出)								
12	6	食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解する。(グループワーク)								
	7	保健サービスとその活用	・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であることについて理解する。(小テスト、ノート提出)								
1	8	医療サービスとその活用	・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解する。(グループワーク)								
	9	医薬品の制度とその活用	・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解する。(小テスト、ノート提出)								
2	10	さまざまな保健活動や社会的対策	・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解する。(グループワーク)								
	学年末考査と解答		・後期の学習について、知識の確認・解答を通して振り返り(ノート提出含む)								
3	11	健康に関する環境作りと社会参加	・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基いた健康に関する環境づくりが重要であることについて理解する。								

★最終評価総括(自己評価/実際評価)						自己評価総括			実際評価総括		
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度		①	②	③	①	②	③
◎前期振り返り					◎後期振り返り					▶備考	